

事業所名

さくららキッズらぼ小諸教室

支援プログラム

作成日

2025年

2月

14日

法人(事業所)理念	子ども達の「やってみたい!」「自分もできる!」という経験を積み、主体性や自分らしさを構築し、社会で生き抜く力や得意なことを伸ばす場所				
支援方針	一人ひとりの個性を尊重しながら、自己肯定感を育む支援をする。 ～『自分で選ぶ、決める力』をつけ、『人に相談できる力』を育む。そして『ご家族のサポート』を!～				
営業時間	平日9時 休日9時	30分 00分	17時 17時	30分 00分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で(手伝ってもらいながら)スケジュールを立て、見通しを持って安心して生活できるようにする。 ・時間を意識しつつ、満足して活動を行えるような習慣を図る。 ・時間や空間が分かりやすいように、構造化等により生活環境を整える。 ・気持ちを話すことで自分の気持ちを認識し、自己を受け入れながら心の健康を育む。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に出かけ大型遊具で遊ぶことや、様々なスポーツ・鬼ごっこ等の活動を通して、全身運動の機会を提供する。 ・折り紙や粘土、自然物を使った制作活動を通じて、目と手の協調や手指感覚を養う。 ・個々に応じた運動機能や感覚の感じ方(敏感・鈍感)に合わせて活動を提供する。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードゲームを通して、情報の処理や判断して行動する力を育む。 ・自分の気持ちや行動に気付いて調整しようとする等、適切な行動への支援を行う。 ・視覚聴覚の優位性や情報処理のパターン等、一人ひとりの認知特性に合わせた声掛けや指示の出し方に配慮する。 ・認知の特性を踏まえ、絵カードやスケジュール表等を用いて、情報を適切に処理する力を育む。 ・自分の得意不得意や行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられるよう支援をする。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや要求の伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを練習し、学校等で実践できるようにする。 ・表情やジェスチャー、絵カード等のコミュニケーション手段を用いて、お子さんの表現手段が広がりコミュニケーション力が伸びるよう支援をする。 ・『相談をすると困っていることが解決できる』経験を積み重ね、周りの人を頼る力を育む。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの不安や思いに寄り添い、安心できる場所、安心できる大人としての役割を果たせるよう支援をする。 ・興味関心のあることから、共に活動することを通じて仲間作りにつながるよう支援をする。 ・他者の気持ちを理解し、相手に応じることや場に応じた好ましい対応ができるように支援をする。 ・色々なことを体験する中で、経験を増やしたり挑戦する楽しさを知り、主体的に生きる力をつける。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などにお子さんの様子を保護者と共有する。 ・保護者・ご家族(兄弟姉妹)の交流や相談(さくららカフェ・さくららファミリーイベント)を行う。 ・家庭では確保しづらい体験の機会をお子さんに提供する。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の必要性に応じて、学校を中心に関係者会議や支援会議の場を設ける。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントへの参加を通じて、地域の方々と交流の機会を持つ。 ・併用事業所や学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助を行う。 ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携を行う。 ・地域の大学生と交流をする機会を持つ。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修などの教室内研修を行う。 ・外部の各種研修へ参加する。 ・事例検討会等、教室内の学習会を行う。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加行事の開催:カレー作り・豚汁作り等 ・季節に応じたお出かけや行事:花見・川遊び・昆虫館・公園・雪遊び・クリスマスイベント・新年会・節分など ・地域へのイベント出店参加。(『こものみ市』等) 				